

第39回 臨床研究推進啓発セミナー

(2021年度 第2回 臨床研究発展セミナー)

2021年11月11日(木)

参加費無料
要事前申込

18:00-19:00 Web配信形式での実施です。

対象：これから研究を始める若手研究者・研究支援者や大学院生、医師・歯科医師、看護師・薬剤師等のメディカルスタッフ、事務職員などの病院職員、学生
(学外の方も参加できます)

研究デザインBrushup ②

批判的吟味にも太刀打ちできる
無作為化ランダム試験の研究デザイン作成のポイント
～2つのRCT実施の実施体験から語る～

慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター
教育研修部門 特任助教
安田 英人 先生

研究デザイン作成は臨床研究の要です。臨床研究の土台である研究デザインに揺らぎが生じるとその上に聳え立つ結果も何かの拍子に崩れ去り、信頼ができない結果となってしまう可能性があります。これは臨床研究の論文を読む際にも当てはまり、医学論文の批判的吟味のポイントはバイアスを含まないような研究デザインで臨床研究を実施できているかを評価することにあります。

質の高い研究デザイン作成のためには、医学論文の査読者の立場に立ってみると理解しやすくなります。“質の高い”臨床研究のポイントとはどのようなところなのか、それをわかりやすくまとめてみたのが自分が執筆した“Journal clubをやってみよう”でした。本書でも例として扱っている筆者が実施したRCTを教訓に新たに計画・実施しているRCTの経験から、RCTの研究デザイン作成のポイントに関して解説します。



▶ お申し込みはこちら → <https://education.ctr.hosp.keio.ac.jp/>



臨床研究教育研修 受講管理システムWebサイトより事前申込をお願いします。
お申込頂いた方には、別途、受講案内メールを送付致しますので、当日は受講案内メールに記載された参加URLよりアクセスの上、受講して下さい。

